



いし ぐろ こう すけ
石黒 紘 介

生 年 月 1984年9月愛知県生まれ
最終学歴 2009年京都大学大学院
工学研究科建築学専攻
修了

業務経歴 2009年藤竹中工務店入社
現在、名古屋支店設計部

●担当した主なプロジェクト

2011年 松坂屋久屋南パークテラス

2012年 竹中工務店名古屋支店
(名古屋センタービル改修)

2014年 ATグループ本社 北館

2016年 ATグループ本社 南館

2018年 常葉大学静岡草薙キャンパス

■青年技術者のことば

これまで、商業施設、事務所、自動車ショールーム、学校など様々な用途のプロジェクトに携わることが出来ました。建築主の要望、法的な制約、コスト条件など前提条件はプロジェクトごとに変わりますが、振り返ってみると、どのプロジェクトにおいてもその建築の「空間の豊かさ」をいかに最大化できるかを常に考えながら設計に取り組んできました。

「空間の豊かさ」を構成する要素は、外部空間とのつながり/自然光の取り込み/気積の大きな空間/余白の空間/人々の居場所となること/緑の風景など様々ですが、どれも建築空間に潜在するため図式化されることがなく法規、コスト、スケジュールなど様々な制約に縛られるプロジェクト進行を通じて様々な場面でその価値を問われることになります。しかしながら、その豊かさを創出することが建築をつくる大きな意義であり、それは人々の豊かな活動、経験を支えるものとなります。

今後は、生産性向上、コスト合理化の必要性が高まることに対して、進化するコンピューショナルデザインやBIMを効果的に導入しながら設計に向き合い、人々の豊かな活動、経験を支える「空間の豊かさ」を探索し続けていきます。

■すいせん者

市川健二

(株)竹中工務店 名古屋支店

設計部 設計部長

常葉大学静岡草薙キャンパス



自然・地域・交流の接点となる「地方中核都市型キャンパス」



自然環境を届ける媒体となる「キャンパスリビング」



学生の居場所を屋外へ拡張する「ステップテラス」

ATグループ本社 北館・南館



大通りの交差点に面する外観は「街を彩る木の器」となる



表しの木による空間に街路樹の緑の風景を取り込む



大通りに面した間口140mのカーモール

竹中工務店名古屋支店



来客ロビー：木と左官の「伝統」の表現と光とアートの「革新」



周囲の雑多な風景から柔らかな光を抽出するスクリーン